

2021年5月7日

各位

双日株式会社

双日、ビジネスジェット事業においてケイマン諸島国籍機のチャーター運航を開始
～より長距離の運航を実現し、幅広いニーズに応える～

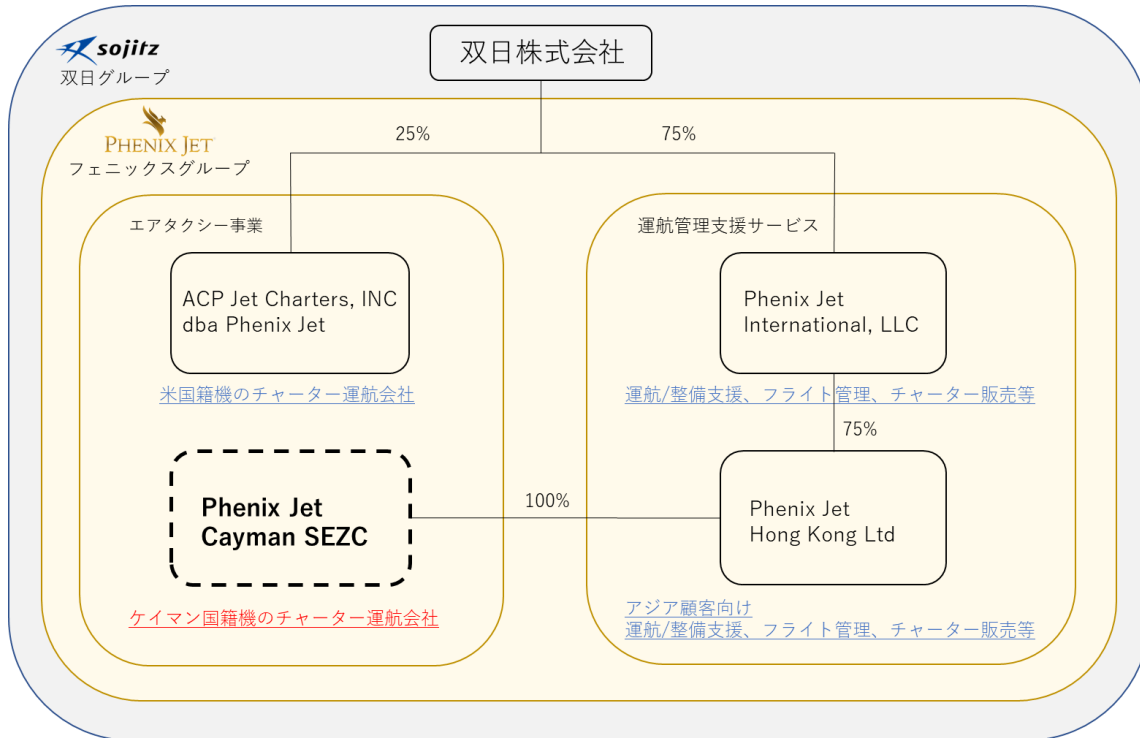
双日株式会社（以下、「双日」）は、このたび、多様化するニーズに応えるため、ケイマン諸島国籍のビジネスジェットチャーター（不定期便）機の運航を開始しました。



【ダッソー・アビエーション社の「Falcon7X」】

ケイマン諸島国籍のビジネスジェット機はアジアで増加傾向にあります。これらケイマン諸島国籍のビジネスジェット機のチャーター（不定期便）運用を可能にするため、双日は、チャーター事業免許（ケイマン Air Operator's Certificate、以下、「ケイマン AOC」）を保有するフェニックス・ジェット・ケイマン社を子会社化し、ダッソー・アビエーション社の「Falcon7X」の運航を実現しました。

ケイマン AOC を保有することでより長時間のチャーター運航が可能となるため、「Falcon7X」以外にも、超長距離性能を有するボンバルディア社の Global 7500 やガルフストリーム社の G650ER などの性能や特徴を最大限に生かすことができ、幅広いニーズに応えるチャーターフライトの提案が可能です。



【フェニックス・ジェット・ケイマン社 子会社化のスキーム図】

双日は、2003年より日本で先駆的にビジネスジェット事業を開始し、2005年より運航管理事業に参画、その後2017年に米国籍機体の運航管理をおこなうフェニックス・ジェット・インターナショナル社を立ち上げました。フェニックス・ジェット・インターナショナル社は、日本のトップエグゼクティブのために設立された、日本の資本が入った唯一(*)の国際オペレーターであり、日本文化に馴染みが深く経験豊富なスタッフにより、顧客のあらゆるニーズに対し、きめ細やかに対応可能です。

今後ますますライフスタイルやビジネススタイルが多様化する中で、双日は更なるサービス向上やメニューの多様化を図り、あらゆるニーズに応えるとともに、地域経済の発展にも貢献していきます。

(*)双日調べ。傘下グループ会社に外国籍オペレーターを保有し、運航管理などの各種サービスを提供可能である日本企業資本の会社は、フェニックス・ジェット・インターナショナル社のみ。

【フェニックス・ジェット・ケイマン社の概要】

会社名	Phenix Jet Cayman SEZC
設立	2020年2月21日
資本金	USD 175,001
本社所在地	P.O. Box 10008, Willow House, Cricket Square, Grand Cayman, KY1-1001, Cayman Islands.
代表者	Andrew Svoboda
事業内容	ケイマン運航管理会社

【関連リリース】

2017年7月21日付リリース

「双日、「Phenix Jet」ブランドでビジネスジェット事業を拡大展開」

<https://www.sojitz.com/jp/news/2017/07/20170721-03.php>

【事業に関する問い合わせ】

双日株式会社 ビジネスジェット事業課 03-6871-2508

<https://www.sojitz-bizjet.com/jp/>

【リリースに関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-6871-3404